

躍進台東 2020年に向けて

台東区観光振興計画 [概要版]

Taito City Tourism Promotion Plan for 2020



平成28年3月

目標とする姿 本物に会えるまち

人情あふれる「歴史と文化のまち」台東区は、豊かな歴史や芸術・芸能、ものづくりの伝統など、心が生み出す本物の文化にあふれている。

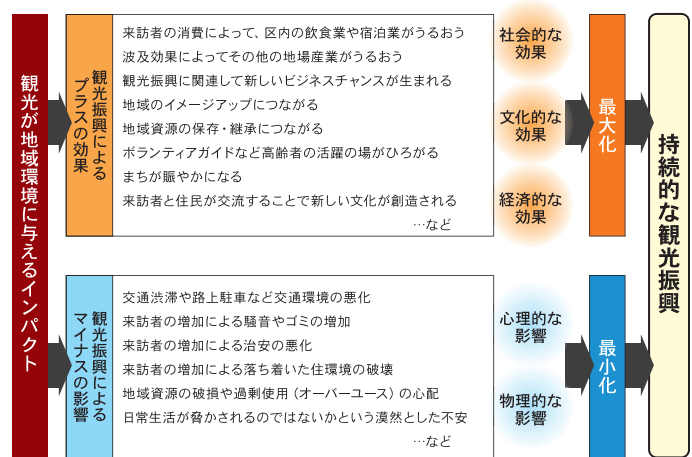
多くの方に、台東区の本物の文化に触れていただくことを目指し、台東区観光の目標とする姿を「本物に会えるまち」とする。

理念 観光の持続的発展

観光は、社会的、文化的、経済的にプラスの効果地域に与えるが、一方で、観光資源への負荷や、区民の生活環境や心理面への負荷など、地域にとってマイナスとなる影響ももたらす。

観光の発展を、将来にわたって持続可能なものとするには、プラスの効果を高めていくだけでなく、マイナスの影響に配慮し、最小限にしておくことが必要である。

観光資源や区民の生活環境、生活文化等を保全し、区民生活を向上させ、将来世代にも継承していく「観光の持続的発展」を、観光振興の理念とする。



基本方針

基本方針 1 台東区が有する多面的な魅力要素に光を当てる ～多面的な観光魅力の創出と磨き上げ～

多様化する観光ニーズを踏まえ、新たな観光資源を掘り起こしていくとともに、歴史、文化、産業などの魅力的で多彩な観光資源をより一層磨き上げるなど、台東区が有するあらゆる魅力要素に光を当てていく。

基本方針 2 区民の生活向上を意識した観光の基盤を実現する ～利便性と快適性を兼ね備えた観光の基盤づくり～

施設・道路等のバリアフリー化の推進や、安全・安心を確保する取り組みなど、区民と観光客の双方にとっての満足度を高めるような観光の基盤を実現していく。

基本方針 3 地域に対する愛着や誇りといった意識の醸成を図る ～地域への愛着・誇りに基づくおもてなしの向上～

区民一人ひとりが台東区の魅力に気付き、自らの住む地域への愛着や誇りが高まることを意識して、観光振興に取り組むことで、観光客へのおもてなし意識の醸成やボランティア活動への参加を促す。

基本方針 4 多様な来訪者に対して台東区の魅力を的確にアピールする ～的確で細やかな情報発信・プロモーションの実施～

多様化する観光客のニーズを把握して、効果的なシティセールスを展開するとともに、SNSの活用など、多様な手法による情報発信を行うことで、観光客の満足度を高め、さらなる誘客につなげていく。

基本方針 5 地域が一体となって観光に取り組む ～地域が一体となった観光振興への取り組み～

観光団体や産業・商業団体、行政に加え、区民や事業者など、各主体の適切な役割に基づいた推進体制のもと、地域一体となって観光振興に取り組んでいく。

目標指標

数量的な増加を目指すだけでなく、観光の「質」の向上を目指すことにより、観光客が満足し、再び訪れたいと思うような観光地であるとともに、区民が愛着や誇りを持てる観光地であることを実現していく。

また、観光振興が地域に及ぼす経済的効果の指標として、観光消費額の増加を目指す。

観光客の意識

だれもが満足し、何度も訪れたいくなる観光地、知人に勧めたいくなる観光地を目指し、満足度、再来訪意向及び紹介意向について評価を向上させる。

- ・台東区を訪れて満足した観光客の割合
- ・台東区を再び訪れたいと思う観光客の割合
- ・台東区観光を知人に勧めたいと思う観光客の割合

→ 100%に
近付ける

区民の意識

観光客に対する区民の理解、愛着や誇りに基づく紹介意向及び観光基盤整備に対する評価を向上させる。

- ・観光客が増えることに対して好意的な区民の割合
- ・台東区を魅力ある観光地として紹介できると思う区民の割合
- ・観光基盤を整備することが区民生活の向上に寄与すると思う区民の割合

→ 100%に
近付ける

経済的指標

観光振興により地域経済を活性化するため、年間観光消費額を増加させる。

- ・年間観光消費額（推計）[平成26年 2,652億円]

→ 増加

推進体制

区、関係団体、事業者、区民等が、それぞれの役割を果たしながら、本計画の推進に向けて取り組んでいく。

また、計画全体を統括し、各種調整や取り組みの評価、情報共有を行う場として、台東区観光振興計画推進会議を設置し、効果的・効率的な観光振興に取り組んでいく。



空から見た台東区

重点プラン

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、区が一丸となって優先的に実施する施策

推進する取り組み

1

外国人観光客 歓迎プラン

外国語対応や異文化対応など
外国人受入体制の充実の視点から

①インフォメーションボードの再整備

②外国語ツアーガイドの充実

外国語表記やピクトグラムを掲載した観光案内板を再整備して、外国人観光客の利便性を高める。また、歴史・芸術・文化など、台東区の多彩な魅力をより深く理解し、満足度が高まるように、外国語ツアーガイドなどの充実を図る。



インフォメーションボード

③ICT(フリーWi-Fi等) 環境の整備

Wi-Fi環境について、区の観光案内板等で整備を進めるほか、区内商店街や商業施設における整備を促進して、外国人が携帯情報端末を利用して快適に観光できる環境づくりを進める。

④消費税免税店の普及促進

⑤外国人にもわかりやすい飲食店 メニューの普及・啓発

⑥ムスリム旅行者の受入促進

消費税免税店の普及促進や、ムスリム旅行者をはじめとした外国人の文化や習慣に対応した飲食店の普及促進などにより、外国人が買物や食事を楽しめる環境整備を促進する。

⑦観光マナー啓発

生活習慣等の違いに起因するトラブルを防ぐため、日本でのマナーや習慣についての啓発に取り組む。

2

おもてなしの心 育成プラン

おもてなし力の向上の視点から

①花の心プロジェクト

花の心の普及を図り、花でまちを飾り、おもてなしのまち台東区を世界にアピールする。



花を増やす取り組み

②オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の開催

③オリンピック・パラリンピック教育の推進

④「おもてなし講習会」の開催

観光客を温かく迎え入れる観光地を目指し、社会教育や学校教育の場などを通じて、区民のホスピタリティの向上を図るための啓発活動等を行う。



おもてなし講習会

⑤おもてなし活動の促進

道案内など、気軽に取り組めるおもてなし活動に対する区民の意欲を高めるとともに、ボランティアに関する情報提供などにより、ボランティア活動の参加促進を図る。

3

ハードとハートの バリアフリー推進プラン

バリアフリー化の促進の視点から

①バリアフリーの推進

②鉄道駅総合バリアフリー 推進事業助成

③安全・安心な道づくり

区民、利用者、各事業者等と連携しながら、公共交通、建築物、道路などにおけるバリアフリー整備を推進する。



JR御徒町駅ホーム柵

④福祉のまちづくり推進

互いに助け合い、思いやりの心を持って相手に接する「心のバリアフリー*」の普及啓発に取り組む。

*心のバリアフリー…高齢者、障害者等の自立した日常生活・社会生活を確保することの重要性と、高齢者、障害者等の円滑な移動及び施設の利用を実現することの必要性について、理解を深めること。また、高齢者、障害者等の円滑な移動及び施設の利用を確保することに積極的に協力すること。



高齢者疑似体験

⑤バリアフリー情報の発信

ユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくりのため、宿泊・旅行事業者などの連携強化を図り、幅広い情報の収集に努めるとともに、バリアフリー対応の宿泊施設や観光コースの紹介など、バリアフリー情報を積極的に発信していく。

4

千客万来受入プラン

より多くの来街者を受け入れるための
環境整備の視点から

①観光バス駐車対策

②さわやかトイレの実行計画の 策定と推進

増加が見込まれる観光客の需要に合わせ、民間施設の有効活用も含め、計画的にトイレを整備していく。また、区内に流入する観光バスに関する実態を分析し、安全で快適な交通環境の整備に向けた手法などについて検討し、実施する。

③防災船着場を活用した舟運の 活性化

新たな舟運事業者の参入を促すなど、区内外の観光地との連携を強化して、舟運のさらなる活性化を図る。



浅草東参道二天門防災船着場

④帰宅困難者対策の推進

災害時において、必要な情報を観光客に提供できる環境を整備するなど、観光客の安全・安心を確保するための取り組みを推進する。



帰宅困難者訓練

5

歴史と文化のまち PRプラン

多彩な魅力の発信の視点から

①上野「文化の杜」新構想の推進

②江戸下町伝統工芸の振興

上野「文化の杜」や、日本有数の伝統産業の集積など、歴史と文化を中心とした台東区の魅力を広く国内外へ発信して、歴史と文化のまちとしての存在感を発揮する。

③地方との連携による広域観光 ルートの確立と地方創生の推進

北陸新幹線の開業等による交通アクセスの向上を活かし、国や沿線自治体などと連携して、新たな観光ルートを確立し、訪日プロモーションを行う。

④国内外でのシティセールスの展開

⑤コンシェルジュを通じた観光PR

⑥SNSによる多言語観光情報発信

国や東京都と連携し、国内外でのシティセールスの充実を図る。また、ホテルのコンシェルジュなどを通じた情報発信や、SNSを活用した多言語での情報発信など、発信方法を多様化して、ビジネス客や個人旅行者の誘致促進を図る。

⑦観光統計・マーケティング調査 の実施

効果的な観光プロモーションを行うため、対象や地域を拡大するなど、観光統計・マーケティング調査の充実を図る。

⑧浅草文化観光センターの 機能強化

日本文化体験ワークショップの開催やユニバーサルツーリズムの紹介などを実施して、観光案内の拠点である浅草文化観光センターの機能強化を図る。

施策の展開

施策

基本方針1

台東区が有する
多面的な魅力要素に光を当てる
～多面的な観光魅力の創出と磨き上げ～

- (1) 歴史・芸術・文化を活かした観光魅力の創出
- (2) 産業と連携した観光魅力の創出
- (3) イベント等によるにぎわいの創出
- (4) 水辺空間の魅力向上
- (5) 景観の魅力づくり
- (6) 回遊を促す魅力の創出
- (7) 広域連携による魅力の創出

基本方針2

区民の生活向上を意識した
観光の基盤を実現する
～利便性と快適性を兼ね備えた観光の基盤づくり～

- (8) 交通アクセス・ネットワークの充実
- (9) 施設・道路等のバリアフリー推進
- (10) 快適に観光できるさわやかトイレ等の環境整備
- (11) 案内体制の整備
- (12) 安全・安心を守るための環境整備

基本方針3

地域に対する愛着や誇りといった
意識の醸成を図る
～地域への愛着・誇りに基づくおもてなしの向上～

- (13) 商店などでのおもてなしの向上
- (14) 花と緑のおもてなし
- (15) まちの美化活動と観光マナーの啓発
- (16) おもてなしの人づくり
- (17) 区民の観光意識の醸成
- (18) 心のバリアフリー推進

基本方針4

多様な来訪者に対して
台東区の魅力を的確にアピールする
～的確で細やかな情報発信・プロモーションの実施～

- (19) シティセールスの展開
- (20) ICTの活用等による情報発信
- (21) マスコミ等を通じた魅力発信
- (22) 多様なニーズに応じた観光情報の発信
- (23) 多様な手法を活用した観光客のニーズ調査

基本方針5

地域が一体となって
観光に取り組む
～地域が一体となった観光振興への取り組み～

- (24) 地域が一体となった観光振興への取り組み